

稲城野草散策の会

野草スケッチ ヤマザクラ (バラ科)



1997/04/03

稲城市坂浜

絵と文 Ta

ヤマザクラは多摩丘陵のどこにでも生えている雑木の一つである。

あえて「雑木」と書いたのは、雑木林の「構成員」だからだ。

雑木林の樹木には共通した特性がある。

それは、根元から伐採されても、切り株から新しい芽が出て、やがて枝となり幹に成長して、短期間に元の樹と同じような大きさに育つことだ。

雑木林はかつて、10～15年ごとに皆伐された。薪や炭の原料だったのである。

が、いま、薪や炭の需要はほとんど無い。

薪炭林(しんたんりん)という言葉は、死語になってしまった。

お馴染みの童話のプロローグ、「おじいさんは山へ芝刈りに・・・」も、現代では意味がわからなくなっていると思う。

芝刈りとは、ゴルフ場の芝を刈ることではない。

低木を刈ったり、枯れ枝をたきぎとして利用するための作業のことであり、それはもっぱらおじいさんの役割だったのだ。

芝刈りは雑木林の手入れでもあり、結果として林床は広く、明るい状態が保たれた。

雑木林に積もった落ち葉は、堆肥として田畑へ鋤きこまれた。

こうして、雑木林は余すところ無く利用されていた。

農家にとって、雑木林は生活と密着した、かけがえの無い資源だったのである。

標高とか傾斜地かどうかに関係なく、雑木林は「ヤマ」と呼ばれる。

人と雑木林のかかわり、長年にわたって蓄積された生活の重みが、「ヤマ」という言葉には凝縮されているように思う。

薪炭も堆肥も使われなくなったのは、石油燃料と化学肥料の普及である。

雑木林の利用価値は限りなく低下した。

おじいさんは山へ芝刈りに行くことをやめてしまった。

人手不足もあって、雑木林の手入れをする人はいなくなった。

かくて山は荒れ放題、藪また藪である。もはや「ヤマ」ではない。

あるとき、雑木林を伐採している現場に出くわした。

開発のためではない。

雑木林の手入れとして皆伐しているのである。最近では珍しい光景だ。

見ていて感激したのは、ヤマザクラだけは切らずに残したことだ。

手入れのみが目的ならば、ヤマザクラを残す意味はない。

「ヤマ」を大切にしている人の風流心と感じた。

残されたヤマザクラは、さんさんと陽を浴びて聳え立っている。

のびのびと枝を伸ばし、葉を広げるようになった。

他の樹木と日照権を奪い合う生活から開放され、本来の姿を取り戻したのだ。

翌春、誇らしげに咲かせた花を遠くからでも眺めることができた。

「ヤマ」を守ろうとしている人がいる。

ヤマザクラは、その証として咲いている。

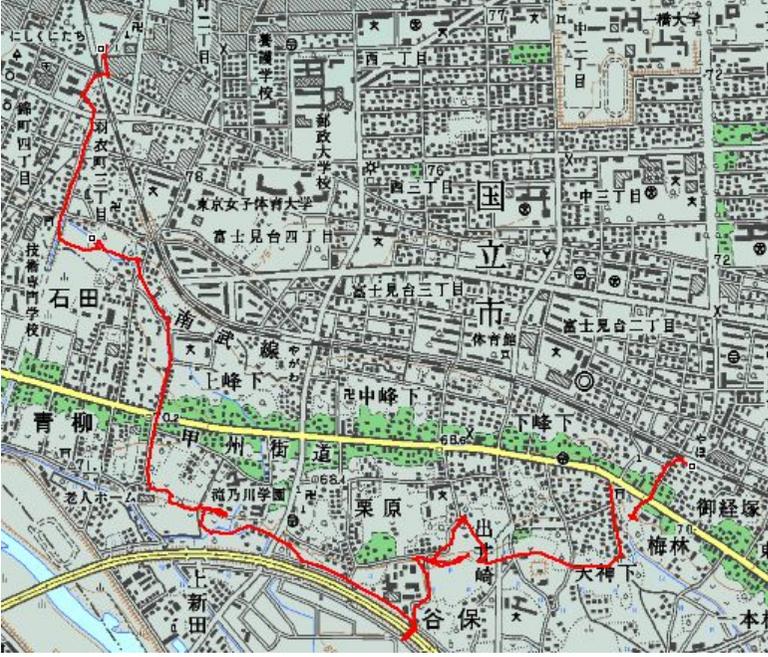
そのことがとてもうれしかった。

2005/5/8（日） よこやまのみち

項目	説明
集合	am10時、小田急多摩線唐木田駅改札口付近 ※会旗目標 唐木田駅の改札口は一個所だけです
交通	小田急線新百合丘駅乗り換え小田急多摩線で終点まで 京王相模原線橋本行で京王永山乗り換え小田急多摩線で2駅目 多摩都市モノレール多摩センター駅で乗り換え小田急多摩線で1 駅目
行く先 (解散場所)	小田急多摩線唐木田駅から「よこやまのみち」を歩きます。京王 線堀之内駅にてpm3時半頃解散予定
見所 その他	「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた「よこや まのみち」を歩きます。カマツカなどの花が見られると思います
地図	
コース	小田急多摩線唐木田駅～大妻女子大脇～正山寺～上妻病院～長池 公園～せせらぎの道～蓮生寺公園～京王線堀之内駅 コースは天候その他により変更する場合があります ご用のある方は途中で抜けても構いません

※小雨決行 参加申込み不要、会費当日300円。

2005/5/22 (日) 矢川源流

項目	説明
集合	am10時、JR南武線・谷保駅 改札口付近 ※会旗目標 谷保駅の改札口は一個所だけです
交通	JR中央線立川駅からJR南武線で3駅目 京王線分倍河原駅でJR南武線に乗り換え、1駅目
行く先 (解散場所)	JR谷保駅から青柳崖線～矢川に沿って歩きます。 JR西国立駅にてpm3時半頃解散予定
見所 その他	矢川源流を探ります。 アマドコロなどの花、ミクリ、シダではコシダ、ウラジロなどが見られると思います
地図	
コース	JR南武線・谷保駅→谷保天満宮→城山公園（昼食）→ママ下湧水 →矢川緑地→JR南武線・西国立駅 (上の地図を参照ください) コースは天候その他により変更する場合があります ご用の方は途中で抜けても構いません

※雨天決行 参加申込み不要、会費当日300円

〔観察記録〕 3月20日 裏高尾・日影沢

今回は日本植物友の会の山田副会長にご案内をお願いしました。なんと91人もの大人数の参加者があり、持参した資料をお渡し出来なかった方もあり、申し訳ありませんでした。今回は、入り口の橋のたもとから溪流に沿って奥まで行き、引き返して一旦橋まで戻り、ウッディハウスの広場で昼食の後、林道を奥まで歩き坂道を降りて、とうふ屋の先に出るというコースでした。

スプリングエフェメラルが中心でしたが、今年の春は全般的に花が遅れているようです。イチリンソウ、ニリンソウ、アズマイチゲ、キクザキイチゲなどのイチゲの仲間、ネコンメソウ、ヤマネコノメソウ、ヨゴレネコノメ、ハナネコノメなどのネコンメソウの仲間、スミレの仲間、ユリワサビ、コチャルメルソウ、トウゴクサバノオ、オニシバリの花などが観察出来ました。(FAM)

〔観察記録〕 4月3日 フローラオフ・片倉城址公園

当日朝までの雨の予報が良い方にはずれ、日が差してくる晴れに変わって観察日和となりました。天気が悪くなったせいもあるのでしょうか、参加者は31人集まりました。カタクリの花も期待出来そうです。今回は、特別参加の「このきなんのき」の林所長、白馬のペンションぼくちのオーナーbokunchiさんの参加があり、にぎやかでした。

入口辺りにはアマナ、カイコバイモ、イチゲの仲間の花、リュウキンカの黄色の花が見られましたが、中には植えられたものもあるようです。ウバユリとヒメザゼンソウの見分け方やシュロソウの名前の由来の説明もありました。カタクリの花もきれいに咲いていましたし、セキショウの花も見られました。

昼食をとった広場は昨年はお花見が出来たのに、今年はまだ一輪も咲いていません。裏の雑木林では、ミツバツチグリ、キジムシロ、アマナの花を見ました。傍の畠の中の道には、この辺りでは珍しいイヌナズナの黄色の花がナズナの白い花と混在して咲いていました。

公園に戻る道では、いろいろな樹木や草花が植えられています。ギンヨウアカシアの黄色の花が見事に咲いていました。公園に戻ると今年もミズバショウの花が咲いていました。植えられたものですね。

ここで解散して、希望者で八王子みなみ野の方に足を伸ばしました。途中、ヤママルリソウの花が咲いていたのが収穫でした。尾根道では林所長、Taさん、めりべさんたちが熱心に樹木の見分け方を議論されたようで、予定の時間より大分遅れて八王子みなみ野駅に到着。無事観察会が終了しました。春になり、4月、5月と次々に観察会が企画されています。またお会いしましょう。(FAM)

〔訂正〕 片倉城址観察会資料

お渡しした資料に大きな誤りがありました。

誤) スイカズラ科 オオツクバネウツギ

正) ブナ科 オオツクバネガシ

住吉神社の裏手にある大きな木です。ツクバネガシとアカガシの雑種と考えられています。訂正しておいて下さい。済みません。(FAM)

お知らせとお願い

★稲城野草散策の会では、「稲城野草散策の会HP」「稲城野草散策の会ML」を運営しています。観察会の行事企画などの情報満載のほか植物情報の交換も行こなっています。是非ご活用下さい。

●稲城野草散策の会では、会のバッジをお渡ししています。昨年以來5回以上この会に参加された方に差し上げていますので、「5回参加した」という方は世話役の尼子までお申し出下さい。

●ほとんど毎回参加されている方には名前入りの会のバッジを作りました。いつも顔を会わせている方のお名前を知ってお互いの交流を深めていただきたいと思います。

●観察会のあと、必ず懇親会を行っています。「ささやか」と称していますが、必ずしも「ささやか」ではない飲み会です。観察会で見た植物のはなし、植物談義、植物に関連した情報交換、次のフローラ観察会の相談などなど。楽しい集まりです。どなたでもこういう集まりまた飲み会に興味のある方は観察会の後残ってご参加下さい。歓迎します。

●《お願いです》。

「稲城野草散策の会」では、案内する方が説明のためにとることもありますが、原則として野草の採取は禁止しています。きれいだから、珍しいからといって花を採るようなことは絶対にしないで下さい。

皆さん、お互いに気をつけあって、公共のマナーを守って下さい。駅構内や狭い道などでは、私達以外の通行人がいらっしやいますので、必ず通り道を空けて置くように気を遣っていただきたいのです。通り道も空けていないようなグループを相手の立場になってみると、なんて自己ちゅうで非常識なグループだと思うに違いないのですから。

●「稲城野草散策の会」に何かご意見、ご希望があれば、幹事の方に遠慮なくお申し出下さい。